



教職員研修の概要や調査研究の成果など
総合教育センターの取組と様々な教育情報を
発信しています。
ぜひ教職員の皆さまも
フォローをお願いします。



県教委だより

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

No. 717

令和2年(2020年)7月21日発行

不祥事根絶に向けた取組

(総務課・県立学校人事課・小中学校人事課)

令和元年度に、埼玉県教育委員会が懲戒処分をした件数は計39件となり、過去10年間で最も多い数となりました。特に「わいせつ行為等」に対する処分は計17件と前年度の約2倍に増加し、大変深刻な状況です。

このような状況を踏まえ、令和2年5月29日に、県教育長から教職員に向けてメッセージを発信しました。(全文は、県教育委員会ホームページ「教職員不祥事根絶ポータルサイト」に掲載)

[埼玉県教育委員会 不祥事根絶ポータルサイト](#)

検索

教職員の使命と誇りを再認識しよう (県教育長メッセージ概要)

- 学校を休業したことで再認識できたことがあります。
- まず、学校がいつもと変わらぬ教育活動を行うことが、児童生徒の教育という面だけでなく、人々が社会生活を維持していくうえでも大きな役割を担っているということです。
- また、教職員についても同様です。危機的状況にある今だからこそ、皆さんも改めて教職員としての使命や誇り、また自らの志について思いを巡らせてみてください。
- 私は、先行き不透明な時代をたくましく、心豊かに生きていける子供たちを育てていくことが教育に課せられた使命である、そして、無限の可能性を持つ子供たちの成長を本気になって支えていくことが、私たち教職に携わる者の誇りにつながっていくものと考えています。
- 私たち教職員一人一人が果たすべき崇高な使命をしっかりと意識して行動すれば、自ずと不祥事は無くなるはずで。未来を担う子供たちの教育に、誇りと気概を持って取り組んでいきましょう。

埼玉県教育委員会では、以下に記載した新たな取組を中心に、平成30年7月に策定した「不祥事根絶アクションプログラム」に基づき、不祥事防止の取組を総合的に実施していきます。

■「不祥事根絶対策チーム」の設置

教育局関係各部課が一体となり、不祥事対策を総合的かつ機動的に推進することを目的として、教育総務部副部長を座長とするプロジェクトチームを設置する(令和2年6月1日設置)。

■不祥事の当事者意識を醸成する「新たな研修プログラム」の作成

不祥事防止研修の全体像を一から見直し、心理学等の知見も活用しながら、当事者意識の醸成に効果的な研修プログラムを作成する。

【問合せ】 総務課 不祥事根絶・行政監察担当 (電話:048-830-6713)

「良い授業を見つけ!広めて!学力UP事業」映像資料について

(義務教育指導課)

1 事業の目的

埼玉県教育委員会では、埼玉県学力・学習状況調査の結果から把握した、児童生徒の学力を伸ばしている先生方の授業の映像資料を作成しました。この映像資料を研修等で活用することで、教員の授業改善と児童生徒の学力向上を図ることをねらいとしています。

2 「良い授業」について

映像資料には、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に取り組んでいる様子や、先生と子供たちの信頼関係、子供たち相互の望ましい人間関係のもと授業や学級づくりを実践している様子などを収録しています。「主体的・対話的で深い学び」を効果的に行うには、教師による学級経営の充実が不可欠です。良い学級経営ができていない学校が、学力や、自己効力感などの非認知能力を伸ばしている傾向があることが、これまでの埼玉県学力・学習状況調査の結果分析から明らかになっています。

3 映像資料について

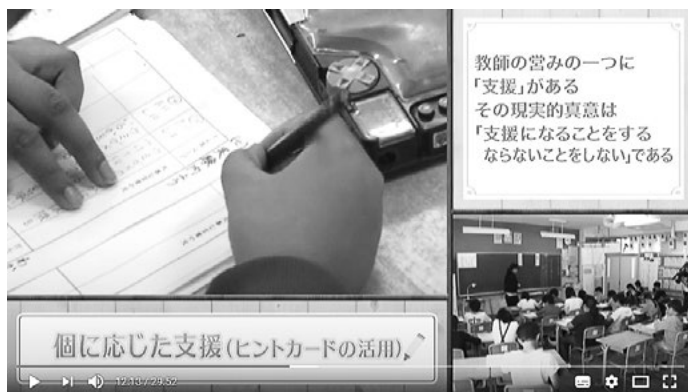
(1) 内容

映像資料は、小学校4～6年の国語・算数、中学校1～3年の国語・数学の他、小学校5・6年及び中学校2年の学級活動、そして、朝の会・帰りの会の様子を、ダイジェスト映像も含め全部で50本作成しています。

(2) 特長

授業の場面ごとに解説を掲載するとともに、教師の発問や児童生徒の重要な発言などをテロップとして表示し、授業展開のポイントを明示しています。

また、メイン画面とサブ画面を併用し、教師と児童生徒の様子を同時に映すことで、教師の目線の配り方や間の取り方など、言葉では説明できないノウハウや、優れた授業の臨場感を感じられるようにしています。



【映像資料のサンプル】

(3) 視聴方法

映像資料は、県立総合教育センターのホームページにある「義務教育指導課 研修用資料サイト (<https://ecsweb.center.spec.ed.jp/gimushi/>)」で視聴いただけます。

★「義務教育指導課 研修用資料サイト」は、
こちらから→



教職員の皆様には、本映像資料を、年次研修や校内研修、自主研修等で活用することにより、教科の枠にとらわれず、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を進めていただくとともに、良好な学級づくりを行い、児童生徒の学力向上につなげていただくようお願いします。



【ホームページ画面】

【問合せ】義務教育指導課 学力向上推進・学力調査担当 (電話:048-830-6779)

県立図書館にご相談ください ～ 授業をサポートします！

1 「がん教育」をサポート

改正がん対策基本法や新学習指導要領にもとづき、学校におけるがん教育がはじまっています。県立久喜図書館では、「がん情報コーナー」を常設し、がんに関する情報を入手するための図書や情報を幅広くご提供しています。がん教育の授業の準備に、県立図書館をぜひご活用ください。

★★ がん情報なら久喜図書館 ★★

● がん情報コーナー

入門書から専門書までがん関連図書約500冊と、関連パンフレットを提供しています。

● ウェブサイトで情報提供

(県立図書館ウェブサイト>健康・医療情報のページ>がん情報)

がんに関する様々な情報を提供しています。調べ方案内・資料リストもダウンロードできます。

例えば…「資料リスト がん、もっと知りたい！治療、生活、これからのこと」(8p 2019.8発行)

関連図書や、正しいがん情報の入手に役立つウェブサイト情報を掲載

● がんに関する講演会を開催

令和元年度は、「がんのイロハ」(講師：国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾文彦氏)を開催し、がんの基礎知識から最新情報までお話いただきました。

県保健体育課や、県立がんセンター地域連携・相談支援センターとも連携し、教職員の方にも大勢ご参加いただきました。

★★ 担当司書のイチオシ本 ★★

「よくわかるがんの話1～3」(林和彦著 保育社 2019)

子ども向けにわかりやすく書かれた、がんに関するあらゆる情報がつまった本。

生徒が自分で読むのはもちろん、教職員の方にもおすすめです。

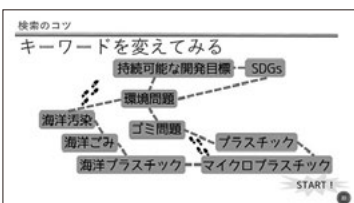


2 「SDG s」の探究学習をサポート

学習指導要領の改訂を踏まえ、「SDG s 持続可能な開発目標」をテーマに探究学習をスタートしている高等学校も多いようです。

県立久喜図書館では、昨年12月に講演会「船から見たマイクロプラスチック -みんなのできるSDG s-」(講師：東京海洋大学 内田圭一准教授)を開催しました。当日は環境科や理科部に所属する高校生や、これから総合学習でSDG sに取り組む予定の先生方の参加があり、講師に積極的に質問をするなど熱心に聴講する様子が見られました。

講演後には図書館司書による調べ方ガイダンスを実施し、情報調べのコツをお話しました。参加された高校の先生から「配布テキストを授業で使いたい」との声をいただくなど、好評でした。



「情報の探しかたガイダンス マイクロプラスチック・SDG s」
テキスト(2019.12発行)より
(テキストをご希望の方は久喜図書館へお問合せください)



★★ マイクロプラスチック・SDG s を考えるために こんな資料があります ★★

『クジラのおなかからプラスチック』(保坂直紀著 旬報社 2018)

『海洋プラスチック汚染 「プラなし」博士、ごみを語る』(中嶋亮太著 岩波書店 2019)

『知っていますか? SDG s ユニセフとめざす2030年のゴール、世界の未来を変える17の目標

“SDG s”入門書』(さ・え・ら書房 2018)

「〇〇に関する図書や論文はないか」「△△について調べ方を教えてほしい」など、電話やメールで、また学校図書館を通して、県立図書館へお気軽にご相談ください。

【問合せ】県立久喜図書館 (電話:0480-21-2659)

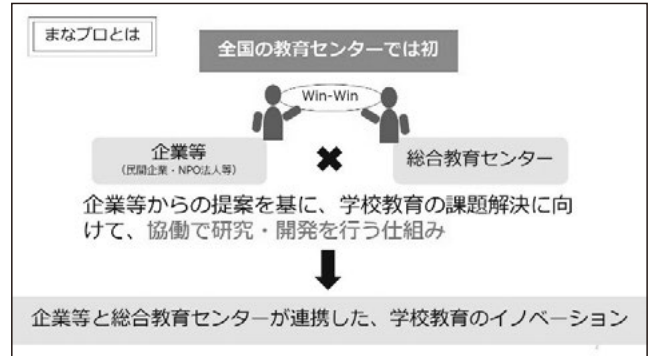
官民連携事業「次世代の学び創造プロジェクト」について

(県立総合教育センター 生涯学習推進担当)

県立総合教育センター（以下センター）では、教育に関心を寄せる企業等と連携・協働しながら、新たな教育を創造する仕組みとして「次世代の学び創造プロジェクト」を開始しました。

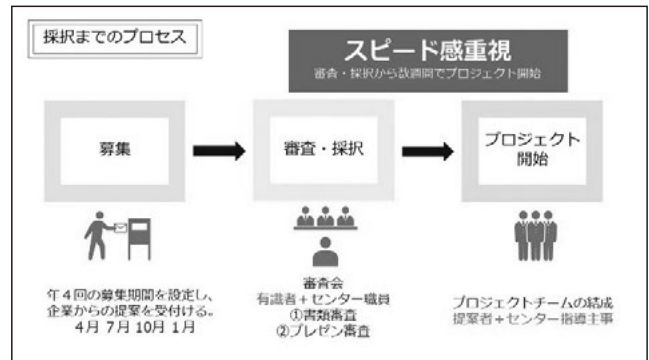
■まなプロとは

「次世代の学び創造プロジェクト（通称まなプロ）」とは、企業やNPO法人等からの提案を基に、学校教育の課題解決に向けた研究・開発を行う仕組みのことで、「まなプロ」により、センターでは、企業等の教育リソースを借用しながら新しい指導方法や教材を協働で開発することを通して、指導主事の専門性の向上や学校の授業支援などを行って参ります。



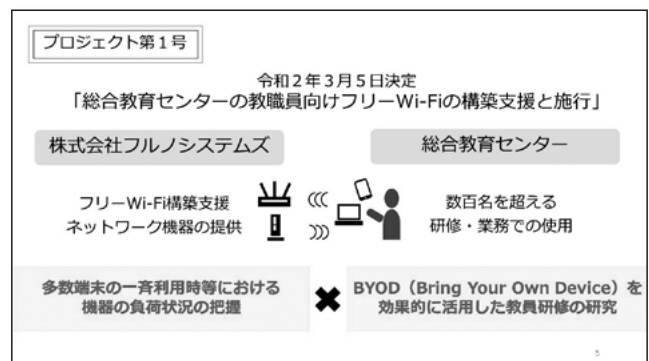
■プロジェクトの流れ

募集については年4回設定し、企業等からの提案を専用ホームページにて受け付けます。審査は書類審査、プレゼンテーション審査の2段階に分かれております。採択後は企業等とセンターでチームを組織して、プロジェクトを協働で進めていきます。プロジェクトの成果は、センターの教員研修や学校の授業などで活用します。



■プロジェクト第1号

「まなプロ」の第1号プロジェクトは、株式会社フルノシステムズ提案の「総合教育センターの教職員向けフリーWi-Fiの構築支援と施行」に決まりました。株式会社フルノシステムズからネットワーク機器を提供していただき、センターの研修等において、自己所有のスマートフォンやタブレット等を効果的に活用する方法（BYOD）について研究するものです。この取組により、株式会社フルノシステムズでは、多くの端末を一斉に利用する際の機器の負荷状況を把握し、今後の製品開発に生かすことができるとともに、センターでは、BYODを効果的に活用した教員研修について研究することができます。



センターでは、この「まなプロ」の取組を通して企業等と協働した研究・開発を行うことにより、学校教育における課題の解決を目指して参ります。

総合教育センター まなプロ 検索

【問合せ】 県立総合教育センター 生涯学習推進担当（電話：048-556-3345）

本当に怖い、扶養手当の返納

例年、所得要件超過による扶養手当の返納事例が多数発生しています。返納が生じないように、被扶養者の所得が要件を超えないか確認してください。



Q1 扶養手当を受給するための所得要件は？ (※回答は最下部にあります。)

- ① 年額103万円未満 ② 年額130万円未満 ③ 年額150万円未満

☞ 原則、所得については事実発生日から今後1年間の所得で判断します。
(事後確認では原則、所得証明書(1月～12月)により確認します。)

Q2 扶養している子(大学生)のアルバイト収入が所得年額を超えていることが判明し、12か月分の扶養手当を返納することとなった。最も近い返納額(概算)は？

- ① 約12万円 ② 約18万円 ③ 約27万円

☞ 扶養手当の返納は、地域手当や期末勤勉手当などに影響がある他、税金の扶養親族の取消や、健康保険証の資格が喪失となる場合があります！

問合せ

	手当制度について	届出方法について
市町村立学校職員	所属の給与事務担当者	
県立学校職員	教職員課給与制度担当 (電話：048-830-6667)	総務事務センター分室ヘルプデスク (電話：048-830-6827)
課所館職員	総務課人事担当 (電話：048-830-6622)	



公務・通勤災害補償制度について



- 掲示物を整理中、踏み台から落ちて骨折した。
- 体育の授業中、児童生徒に手本をみせようとして、アキレス腱を断裂した。
- 通勤途中に追突事故をおこしてしまい、頸椎を痛めた。

など、公務中や通勤途中の事故によるけが等については、**公務(通勤)災害の認定を受ける**ことで、その治療費等が補償されます。

公務(通勤)災害の認定を受けるためには？

- 医療機関を受診し、診断・治療を受けてください。
- 医療機関受診の際は、**共済組合員証(保険証)は使用せず**、公務(通勤)災害の認定請求を行う予定であることを医療機関へ伝えてください。
- 所属所に申し出て、「公務(通勤)災害認定請求書」を提出してください。
- 詳しい手続の方法は、ホームページをご確認ください。

埼玉県 教職員課 公務災害



- 公務(通勤)災害認定の審査には期間を要する場合があります。
- 勤務時間中の事故、通勤途中の事故のすべてが公務(通勤)災害として認められるとは限りません。

【問合せ】 教職員課 総務・退職手当担当 (電話：048-830-6665)

県立博物館等の情報

施設名(所在地)	展示・イベント情報など	展示・募集期間など	問合せ
歴史と民俗の博物館(さいたま市)	特集展示①特別展「武蔵国の旗本」を振り返る ②太平記絵巻の修理を終えて	9月6日(日)まで	048-645-8171 展示担当
さきたま史跡の博物館(行田市)	自由研究相談窓口「調べてわかる埼玉(さきたま)古墳群」	8月30日(日)まで	048-559-1181 広報・学習支援担当
嵐山史跡の博物館(嵐山町)	スポット展示「中世のくらし」	11月29日(日)まで	0493-62-5896 学芸担当
近代美術館(さいたま市)	企画展「New Photographic Objects 写真と映像の物質性」	9月6日(日)まで	048-824-0110 広報担当
自然の博物館(長瀬町)	企画展「地図と模型で見る埼玉の大地」	8月31日(月)まで	0494-66-0407 自然担当
川の博物館(寄居町)	特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」	9月6日(日)まで	048-581-7333 川の博物館
文書館(さいたま市)	企画展「生活に役立つ地図ーマイホーム・防災・子育て・レジャーにもー」	9月6日(日)まで	048-865-0112 地図センター担当
さいたま文学館(桶川市)	収蔵品展「俳画コレクションー岡本癖三酔作 品展ー」	第2期7/21(火)～8/23(日) *第1期と第2期の間に 一部作品の展示替有り	048-789-1515 さいたま文学館

※期間等については、変更になる場合がありますので、事前に各館のホームページでご確認ください。

知識の宝庫・博物館をご活用ください～さきたま史跡の博物館より～

県立さきたま史跡の博物館では、学芸員が埴輪などの資料を持参して学校に出張して行く「出張授業」や、まが玉体験などの事業を行っております。令和元年度は下記のような実践を行いました。

授業例①「なるほど、古墳時代」

学芸員が埴輪や鉄剣のレプリカを持参して授業を行いました。地元の行田市立中央小学校ではさらに調べ学習を進め、夏休みには児童が博物館の展示物を解説する一日学芸員の体験を行いました。



授業例②「もっと知りたい埼玉古墳群」

「国指定特別史跡」への昇格を受け、地元4校の小中学校と連携して古墳全体をステージにクイズや調べ学習で知識を深め、謎解きに挑戦しました。

家でも学べるコーナーを公開中、詳しくはさきたま史跡の博物館ホームページにて。

【問合せ】 県立さきたま史跡の博物館 広報学習支援担当 (電話:048-559-1181)

県立歴史と民俗の博物館から

《夏の特集展示のご案内》

県立歴史と民俗の博物館では、令和2年7月18日(土)から9月6日(日)まで2つのテーマで夏の特集展示を行います。

1つ目のテーマ「特別展『武蔵国の旗本』を振り返る」では、新型コロナウイルス感染症の影響で、公開が叶わなかった特別展「武蔵国の旗本」について、館蔵・寄託資料を中心に展示会の内容を振り返ります。

2つ目のテーマ「太平記絵巻の修理を終えて」では、当館所蔵の「太平記絵巻」5巻のうち、近年修理を行い、華麗に甦った巻第六・第十を初めてお披露目します。

常設展観覧料で御覧いただけます。是非、お越しください。

【問合せ】 県立歴史と民俗の博物館 (電話:048-645-8171)



旗本水野忠貞画像
(寄居町 昌国寺蔵)



太平記絵巻巻第六(部分、当館蔵)

☆県教委だより(No.718号)は、令和2年(2020年)9月18日に発行を予定しています。

発行●埼玉県教育委員会 編集責任者●教育総務部総務課長 栗原 正則 TEL●048(830)6714

☆「県教委だより」バックナンバーはこちらから

